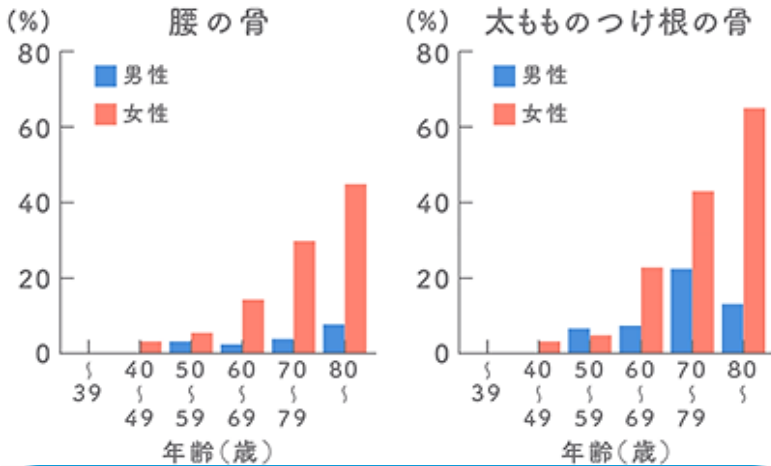


骨密度（骨粗しょう症）健診のご案内

骨の量（骨量）が減って骨が弱くなる骨粗しょう症では、骨折しやすくなります
「骨密度」は骨の強さを判定するための代表的な指標となり、骨の健康を知る上で重要な手がかりとなります。

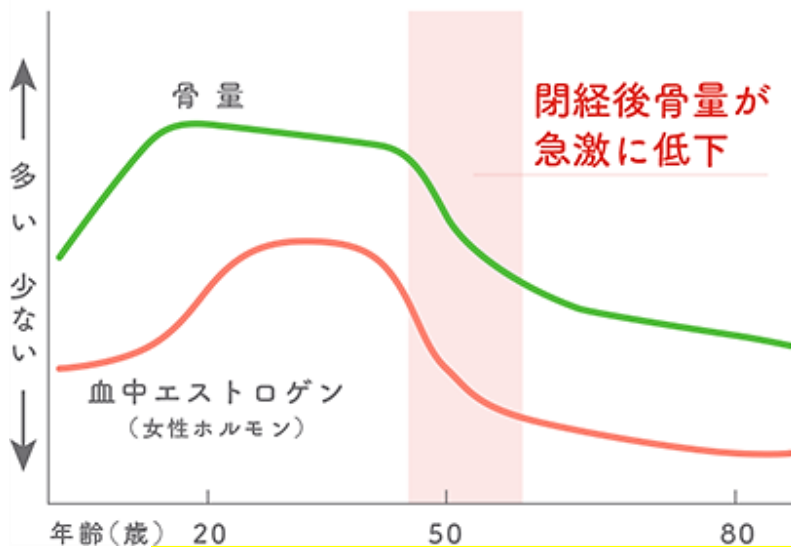
骨粗しょう症の発生頻度（年齢別、男女別）



約 1000 万人以上の骨粗しょう症患者さんがおり、高齢化に伴い増加傾向にあります。

骨粗しょう症は閉経後の女性に多く、(60 歳代では約 5 人に 1 人、70 歳代では約 3 人に 1 人) 男性より 2~3 倍多い病気です。

女性ホルモンと骨量の変化



女性は、閉経によって女性ホルモン（エストロゲン）の分泌が急激に低下するため、50 歳頃から骨量が急激に低下し、骨粗しょう症になりやすくなります。

- *骨粗しょう症になりやすい方*
- ・閉経後の女性
 - ・身長が縮んだ、背中が丸くなった、体格が細身の方
 - ・喫煙や飲酒の習慣がある方
 - ・糖尿病や腎臓病、関節リウマチなどで通院中の方など

40 歳以上になったら定期的に骨密度を測ることをおすすめいたします。

骨密度検査について

検査日時：平日午後（14：15～15：15）

検査時間：約 15 分

検査方法：DEXA 法によるレントゲン撮影（腰椎・大腿骨）

検査費用：8,140 円（税込）

- *検査時、健診部のジャージに着替えてもらいます
- *検査後は医師、看護師による結果説明、指導を行います

予約について

完全予約制です

お電話にて予約を承っております

*腰椎または大腿骨に金属のある方などは、骨密度検査ができないことがあります。

*予約時に、体内金属の有無などをお尋ねすることがあります

お問い合わせ先

長崎労災病院 健康診断部

0956-49-2191（内線 2270）